

一般社団法人日本人間工学会第 51 回理事会 議事録

1. 開催日：2020 年 5 月 8 日（金） 18：00～20：20

2. 開催場所：zoom による遠隔会議

3. 出席理事：

<敬称略>

・理事会構成員(27 名・定足数 14 名以上)

(理 事)：吉武良治(理事長), 下村義弘(副理事長、企業活動), 易強(企業活動), 赤松幹之(編集), 石橋基範(総務、倫理指針), 大内啓子(財務), 岡田明(企画), 加藤麻樹(若手支援), 辛島光彦(財務), 申紅仙(若手支援), 鳥居塚崇(国際、安全、認定機構), 中西美和(総務), 福住伸一(認定機構), 藤田祐志(IEA), 松田文子(広報), 水野有希(表彰), 山田クリス孝介(学会改革) [17 名]

(理事兼支部長)：大須賀美恵子(関西), 平沢尚毅(北海道), 村木里志(九州・沖縄), 村田厚生(中国・四国、第 61 回大会長), 矢口博之(関東) [5 名]

[計：22 名]

(欠席者)：大橋智樹(東北), 河合隆史(IEA), 松岡敏生(東海), 横井孝志(JENC), 横井郁子(学術)

・監事：芳賀繁, 八木佳子

・オブザーバー：青木和夫(学術、第 60 回大会長), 石原茂和(中国・四国支部理事), 榎原毅(学会改革・倫理指針), 土井俊央(第 61 回大会事務局), 堀江良典(表彰)

・事務局：西原彩, 米倉裕美

※全員ネット会議出席者

4. 議事概要

定足数 14 名を超える 22 名の理事の出席を得て理事会が成立したことを確認した後、定款に従い理事長を議長として議事を進行した。

【審議事項】

(1) 第 1 号議案 第 61 回大会及び今後の大会について（理事長・総務・第 61 回大会長・第 62 回大会長）

第 61 回大会（2020 年）については、村田厚生大会長のもと誌上発表によって開催されること、誌上発表については Vol. 56, Supplement の公開を以て、第 61 回大会で発表したものとなることが承認された。さらに、第 62 回大会（2021 年）については、大須賀美恵子大会長のもと大阪工業大学で開催されること、第 63 回大会（2022 年）については、尾道での開催可能性も含めて、今後中国・四国支部にて検討されることが承認された。なお、いずれも COVID-19 による影響を見据えて、オンライン開催等も検討する可能性があることも確認された。

(2) 第 2 号議案 第 61 回大会における研究発表奨励賞について（表彰委員会）

第 61 回大会の優秀研究発表奨励賞については、表彰委員会で選考することとし、従来通り授賞することについて承認された。

(3) 第 3 号議案 総会の開催及び総会資料について（理事長・総務・財務）

例年、大会時に開催していた定時社員総会は、オンラインで開催することが提案され、承認された。社員総会の開催に伴う事務的連絡は、基本的に E メールで行うこととなった。また、財務報告を中心に総会資料を確認し、承認された。なお、財務体質については今後具体的な改善策を検討していく必要がある旨、認識共有をした。

(4) 第 4 号議案 定款の変更について（理事長・総務）

6 月の定時社員総会にて、①主たる事務所の所在地を移転すること（移転先検討中）、社員総会の招集方法を書面に拘らず電子化できるよう定款を変更することについて審議することが承認された。

(5) 第 5 号議案 科学コミュニケーション部会の設立について（榎原毅）

新規に科学コミュニケーション部会を、山田泰行氏を部会長として発足することについて説明があり、承認された。

【報告事項】

(1) 総務報告

(1-1) 石橋総務理事より、一般社団法人日本人間工学会第 50 回理事会議事録が提示され、承認された。

(1-2) 石橋総務理事より、臨時拡大理事会議事録が提示され、承認された。

(1-3) メールによる審議および報告事項の結果について

第 50 回理事会議事録案、臨時拡大理事会議事録案、リサーチ・イシューの早期公開、在宅ワーク・在学学習の人間工学ガイド、(翻訳版)在宅ワーク・在学学習の人間工学ガイド、第 61 回大会と今後の大会に関する計 6 件のメール審議の結果報告があった。

(2) 財務報告

2019 年度収支決算書(案)が提示され、今後、収入増について積極的に検討する必要があることが改めて伝えられた。

(3) 社会発信について

下村副理事長より、緊急事態宣言の状況に応じて、発議する予定であることが伝えられた。

(4) 第 61 回大会について

土井大会実行委員より、大会の開催方法変更に伴う処理が順調に進められている旨、報告があった。

(5) 第 62 回大会について

大須賀大会長より、開催方法変更の多様化(現地及びオンライン)、他学会との連携について検討している旨、報告があった。

(6) 担当・委員会報告

(6-1) 広報委員会

松田委員長より、WEB を活用した情報発信を積極的に進めていく旨、説明があった。

(6-2) 編集委員会

赤松委員長より、学会誌編集状況、論文投稿数及び採択状況について報告があった。また、原稿の性質上、リサーチ・イシュー論文は J-Stage に今後も早期公開する方針とすることについて説明があった。

(6-3) 国際協力・IEA 委員会

榎原学会改革・戦略委員長を中心にまとめられた 7Tips が IEA Press から発行されたことについて、報告があった。IEA のウェブサイトの改訂に伴い HF/E の基本的な考え方についても変更点があり、JES の HP がそれとの整合性を取ったものとなるよう精査している旨、説明があった。IEA の TC にメンバを推薦するにあたり、素案を検討中である旨、説明があった。

(6-4) ISO/IC159 国内対策委員会

特に報告事項はなかった。

(6-5) 表彰委員会

堀江委員長から、各賞受賞対象者の報告があった。

(6-6) 安全人間工学委員会

鳥居塚副委員長から、次期は芳賀委員長、狩川副委員長となる旨、報告があった。

(6-7) 企画担当

岡田企画担当理事より、2 件の企画について、いずれも感染症拡大防止のため実施することができなかった旨、報告があった。うち 1 件の開催については次期の理事に申し送りしている旨も報告があった。

(6-8) 人間工学専門家認定機構

福住機構長より、次期の機構長として八木氏が選出された旨、報告があった。

(6-9) 若手支援委員会

申委員長より、若手研究者(学生)を対象とした各種イベントについて、開催報告があった。

(6-10) 企業活動推進委員会

報告事項は特になかった。

(6-11) 学会改革・戦略委員会

榎原委員長より、7tips の公開と国際展開について報告があった。また、7tips の情報周知、今後

の拡張について理事会全体への協力の依頼があった。

(6-12) 倫理指針検討委員会

石橋委員長より、倫理指針策定の検討の進捗について報告があった。

(6-12) 選挙管理委員会

松田委員長より、第7期選挙については全て完了した旨、報告があった。

(7) 支部報告

(7-1) 北海道支部

平沢支部長より、現地及びオンラインのハイブリッド型の支部大会を検討している旨報告があった。

(7-2) 東北支部

(7-3) 関東支部

矢口支部長より、見学会(産総研)は中止となった旨報告があった。

(7-4) 東海支部

榎原支部委員より、オンラインでの総会開催予定について報告があった。

(7-5) 関西支部

大須賀支部長より、春季講演会、総会ともにオンラインの開催となった旨報告があった。

(7-6) 中国・四国支部

村田支部長(村田支部長のマイクが機能しないため 土井中国四国支部幹事が代理で報告)より、今年度のイベントについては現在のところ未定である旨、説明があった。

(7-7) 九州・沖縄支部

村木支部長より、支部大会の開催方法については検討中である旨、報告があった。

(8) その他

(8-1) 今後の理事会日程について

第52回理事会については、2020年6月12日(金)17:00～、第6,7期の両理事が参加して開催されることとなった。また、第53回理事会については2020年6月13日(土)社員総会終了後に開催されることとなった。

(9) 閉会

以上の議事を終え、20時20分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、代表理事、監事がこれに記名押印する。

2020年5月8日

代 表 理 事

吉 武 良 治

監 事

芳 賀 繁

監 事

八 木 佳 子